

2021年6月30日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン
ANSELM WONG
(コード：9318 東証第2部)
問合せ先 IR推進執行役員 山内 沙織
(TEL. 03-5534-9614)

過年度の決算短信の訂正に関するお知らせ

当社は、過年度の決算短信の訂正を行うことといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

当社は、連結子会社2社である株式会社トレードセブン、及びその子会社・株式会社TS Projectが実行した蓄電池事業の取引実態に疑義があることが判明したため、弁護士及び会計士等で構成する特別調査委員会の調査結論を経て、不適切な会計処理が行われていた事実を確認いたしました。

これに伴い、当社は、2017年11月から2019年4月（2017年12月期から2019年6月期）にかけて行われた計18回の取引について、当該売上・仕入及び売掛金の計上を取り消し、回収時に差益を特別利益として認識することといたしました。

また、この取引に関わる不透明な資金支出に関しまして、2018年12期の発生時期に一括して特別損失として処理を行い、一連の会計処理を訂正することといたしました。この処理に伴い、株式会社トレードセブンの純資産に影響が発生したため、当社保有の同社株式の減損処理等も同時に実施いたしました。

この他、監査法人の変更に伴い、過去の経理処理を全面的に精査した結果、海外子会社での見積もりの訂正が必要と判断いたしました。マレーシア子会社1社につき、収益状況が悪化し、今後の見通し等も勘案した結果、2020年3月期に固定資産、貸付金等の減損引当処理を実施いたしました。

当社は、監査法人と協議の上、本件について過年度の決算を訂正することとし、現時点において正しい決算数値の確定が可能となりましたので、2018年（平成30年）3月期まで遡及の上、過年度に開示した決算短信を下記の通り訂正いたします。

また、本日、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局に提出いたします。

2. 訂正による過年度業績への影響額

今回訂正に伴う過年度業績への影響額の概要は下記の通りです。

(1) 連結財務諸表

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B - A)	増減率
第98期 平成30年3月期 (2018年3月期) 第3四半期	売上高	326	234	△91	△28.1%
	営業利益	△312	△311	1	—
	経常利益	△706	△705	1	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△1,336	△1,371	△34	—
	総資産	3,738	3,703	△34	△0.9%
	純資産	3,660	3,626	△34	△1.0%
第98期 平成30年3月期 (2018年3月期) 通期	売上高	682	315	△367	△53.8%
	営業利益	△484	△490	△5	—
	経常利益	△713	△719	△5	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△1,321	△1,363	△41	—
	総資産	4,146	4,104	△41	△1.0%
	純資産	3,650	3,608	△41	△1.1%
第99期 2019年3月期 第1四半期	売上高	415	140	△275	△66.2%
	営業利益	△141	△147	△5	—
	経常利益	△102	△108	△5	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△103	△100	2	—
	総資産	4,034	3,994	△39	△1.0%
	純資産	3,527	3,487	△39	△1.1%
第99期 2019年3月期 第2四半期	売上高	718	167	△550	△76.6%
	営業利益	△434	△447	△13	—
	経常利益	△314	△327	△13	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△340	△337	2	—
	総資産	4,065	4,026	△38	△1.0%
	純資産	3,377	3,338	△38	△1.1%
第99期 2019年3月期 第3四半期	売上高	1,137	311	△826	△72.6%
	営業利益	△672	△690	△17	—
	経常利益	△580	△598	△17	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△613	△607	6	—
	総資産	3,606	3,571	△35	△1.0%
	純資産	3,014	2,979	△35	△1.2%
第99期 2019年3月期 通期	売上高	1,630	517	△1,112	△68.2%
	営業利益	△843	△868	△24	—
	経常利益	△847	△871	△24	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△882	△875	7	—
	総資産	3,310	3,276	△34	△1.0%
	純資産	2,698	2,664	△34	△1.3%

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B - A)	増減率
第100期 2020年3月期 第1四半期	売上高	322	132	△190	△59.0%
	営業利益	△163	△168	△5	—
	経常利益	△134	△139	△5	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△145	△140	5	—
	総資産	3,126	3,097	△29	△0.9%
	純資産	2,531	2,502	△29	△1.1%
第100期 2020年3月期 第2四半期	売上高	530	340	△190	△35.8%
	営業利益	△325	△327	△2	—
	経常利益	△381	△384	△2	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△562	△551	11	—
	総資産	2,482	2,459	△22	△0.9%
	純資産	2,099	2,076	△22	△1.1%
第100期 2020年3月期 第3四半期	売上高	828	638	△190	△22.9%
	営業利益	△373	△373	△0	—
	経常利益	△491	△492	△0	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△796	△782	13	—
	総資産	2,254	2,234	△20	△0.9%
	純資産	1,852	1,832	△20	△1.1%
第100期 2020年3月期 通期	売上高	1,055	865	△190	△18.0%
	営業利益	△522	△520	1	—
	経常利益	△802	△800	1	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△1,116	△1,181	△64	—
	総資産	2,022	1,924	△98	△4.9%
	純資産	1,539	1,441	△98	△6.4%
第101期 2021年3月期 第1四半期	売上高	151	151	—	—
	営業利益	△98	△90	8	—
	経常利益	△98	△90	8	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△98	△90	8	—
	総資産	1,879	1,792	△87	△4.6%
	純資産	1,438	1,350	△87	△6.1%
第101期 2021年3月期 第2四半期	売上高	265	265	—	—
	営業利益	△220	△204	15	—
	経常利益	△203	△187	16	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△213	△196	16	—
	総資産	1,795	1,716	△78	△4.4%
	純資産	1,333	1,255	△78	△5.9%
第101期 2021年3月期 第3四半期	売上高	463	463	—	—
	営業利益	△320	△296	24	—
	経常利益	△313	△288	24	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△326	△301	24	—
	総資産	3,408	3,337	△70	△2.1%
	純資産	3,218	3,147	△70	△2.2%

(2) 個別財務諸表

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B-A)	増減率
第98期 平成30年3月期 (2018年3月期) 通期	売上高	166	166	—	—
	営業利益	△447	△447	—	—
	経常利益	△624	△624	—	—
	当期純利益	△1,261	△1,333	△72	—
	総資産	4,889	4,817	△72	△1.5%
	純資産	3,839	3,767	△72	△1.9%
第99期 2019年3月期 通期	売上高	152	152	—	—
	営業利益	△324	△324	—	—
	経常利益	△343	△343	—	—
	当期純利益	△478	△540	△62	—
	総資産	4,475	4,341	△134	△3.0%
	純資産	3,330	3,195	△134	△4.0%
第100期 2020年3月期 通期	売上高	124	124	—	—
	営業利益	△316	△316	—	—
	経常利益	△407	△407	—	—
	当期純利益	△1,150	△1,505	△354	—
	総資産	3,163	2,675	△488	△15.4%
	純資産	2,170	1,681	△488	△22.5%

以上